

科目名 オホーツク水産生物学特論(一) (2単位)

担当者氏名 白井 滋

◆学習・教育目標

生物学諸分野で行われている調査研究では、近年、数理的なデータ処理やものの考え方が重視されるようになってきた。博士前期課程ではテーマによってはかなり高度な統計的な水準が求められるが、修士論文作成においては、通常、データの取得（調査、実験の技法）が強調され、肝心の処理部分がおろそかになりがちである。得られたデータの質が良いのにその処理が不十分なために考察が適当でなかったり、あるいは誤った結論を導くといった問題がおきる所以である。本科目では、数的処理の基本的な考え方と技法について学んでいくが、単に解析方法を理解するのではなく、その根底にあるものの考え方について理解することを目的とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

<u>生物学</u>	<u>数理統計</u>	<u>分類学</u>	<u>生態学</u>
<u>資源学</u>			

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テ　　マ	内　　容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-5回	データとること	目前の問題を解決するために、どのようなデータが必要か、最終的にどのような処理によって結論が得られるのかを、事例を通して考える。	
6-10回	基本的な統計	記述統計、分布、検定について、その基礎を理解する。代表値とは、p値とは、「有意に異なる」とは・・・。	
11-15回	より高度な統計技法	相関、回帰についての理解を深める。さらに、多変量解析、モデル構築など、受講生にとって必要な知識について具体的に考えてみたい。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて資料を配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義のあいだに、有用な参考書などを示す予定である。

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席とレポートにより評価

◆その他受講上の注意事項
